

令和元年度

静岡県包装研究会

●開催日時：令和元年11月1日(金) 13:00～16:10

●主催：公益社団法人日本包装技術協会(JPI)

●会場：アクトシティ浜松 研修交流センター 401会議室

JPIでは、各地域の会員ニーズに応えるべく、静岡県におかれましても年1回包装研究会を開催し、多くの地元会員企業の皆様にお集まり頂き好評頂いております。

本年度は第1部に「日本の製造業を支える外国人材 ―外国人材受入れ拡大に向けた政策の現状、動向、留意点―」をテーマに、第2部では「運送・物流現場の梱包・包装改善の具体策」～積載効率だけではダメ!梱包効率と品質UP改善事例に学ぶ～をテーマに開催させていただきます。この機会に、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

講演プログラム

| 時間 | 講演内容 |
|---------------------|--|
| 13:00 14:30 | <p>テーマ：『日本の製造業を支える外国人材 ―外国人材受入れ拡大に向けた政策の現状、動向、留意点―』</p> <p>講師：東海大学 教養学部 人間環境学科社会環境課程 万城目 正雄 氏</p> <p>講演内容：2012年にアベノミクスといわれる経済政策がスタートしてから日本の雇用情勢は改善している。総務省統計局の「労働力調査」によると、日本の就業者数は、2012年から2018年の間に約384万人増加した。労働市場の需給状況を示す有効求人倍率は、2017年には1.61となり、有効求人数が有効求職者数を大幅に上回る状況が続いている。その一方で、日本の人口は、2008年をピークに減少に転じ、人口構成に占める高齢者の割合が上昇している。少子高齢化を伴う人口減少社会が現実のものとして実感されるようになる中、戦後最長といわれる景気拡張期間が重なり、人手不足への対応が、日本の経済・社会の中で大きな関心事となっている。</p> <p>そこで、その対策として、外国人材の受入れがクローズアップされている。しかし、いざ、外国人材を採用したいと思っても、どのような政策やルールがあり、何に留意すればよいのか、問い合わせ先はどこなのか、多くの疑問が生じる。</p> <p>以上を踏まえ、本講演では、2019年4月からスタートした新制度にも着目し、日本の外国人材受入れ政策の現状、動向、留意点について解説する。解説に当たっては、SDGs(国連の持続可能な開発目標)に対する企業の対応にも着目し、外国人材の適切な労務管理・関係法令の順守が、下請け企業・取引先企業を含むサプライチェーンを管理する大手企業にとっても重要な課題となっていることも指摘する。</p> |
| 14:40 16:10 | <p>テーマ：『運送・物流現場の梱包・包装改善の具体策』～積載効率だけではダメ!梱包効率と品質UP改善事例に学ぶ～</p> <p>講師：ロジクエスト株式会社 代表取締役 清水 一成 氏</p> <p>講演内容：近年、社会における分業化が急速に進んできた。その結果、国内はもとより地球規模でモノの移動が激しくなった。モノの扱いや輸配送・荷役・保管・流通加工・包装・情報といった機能が、人件費や運賃をはじめとする物流コストの上昇で、一段と重要視されるようになってきている。多くの企業の経営者が全体収益に対して、物流コストを1%でも多く引き下げようと、経営者自身が、熱心に現場視察に訪れるようになり、物流現場の梱包包装改善に取り組む企業が多く見受けられる。今回は、そんな現場の最新事情をお届けいたします。</p> <p>●「梱包・包装改善は物流コスト削減のカギを握る!」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の物流環境は? 2. 物流コスト削減のキーは在庫削減や保管効率 3. 現状の包装設計には物流管理視点がない 4. 包装材料の調達からお客さままでの流れを把握する 5. 部門係りがなされていない企業が多い <p>など</p> <p>●「包装は、何のために必要なのか?」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物流サービスが価格を決める 2. 付加価値を加える仕事とは? 3. 梱包・包装が原因での返品が増えている <p>●「梱包・包装改善への取り組み ～企業事例に学ぶ～」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 皆さんの現場の梱包・包装の課題は? 2. S社の梱包包装改善事例 3. D社の梱包包装改善事例 4. T社の梱包包装改善事例 5. Y社の梱包包装改善事例 6. M社の梱包包装改善事例 |

開催要領

■日時：令和元年11月1日(金) 13:00～16:10

■会場：アクトシティ浜松 研修交流センター 401会議室

浜松市中区中央3-9-1 TEL:053-451-1111

* (右案内図参照)

■参加料：(公社)日本包装技術協会の会員の方：無料

(一社)静岡県紙パルプ技術協会の会員の方：無料

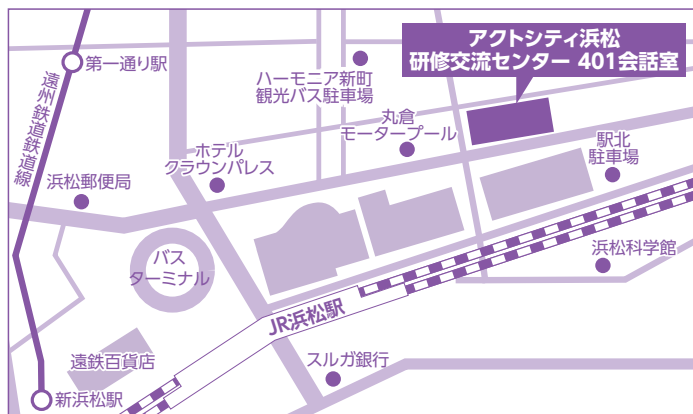
一般の方：一講演につき3,300円(税込)

■定員：80名 お断りする場合のみご連絡します。
 当方より連絡がない場合は直接会場にご来場下さい。

令和元年静岡県包装研究会の参加申し込み方法について

2019年度より、当会研究会のお申し込みを、ホームページからのみの受付とさせていただきます。お手数でございますが、当会ホームページをご覧の上、研究会お申し込みページより、参加登録を頂きたいようお願い申し上げます。

URL:<http://www.jpi.or.jp/index.html>



■お問合せ先

公益社団法人日本包装技術協会 静岡県包装研究会係 担当：佐藤
 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 TEL.03-3543-1189・FAX. 03-3543-8970
 e-mail:satou@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「令和元年度静岡県包装研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。